

平成24年度 教育課程の編成

1. 教育課程編成の基本事項

教育課程編成の基本理念

「生きる力」をはぐくむ。

⇒ 確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する。

(1) 学校教育目標

たくましく心豊かな雲浜の子

(2) 本校教育の基本方針

- ① 確かな学力の定着
- ② 豊かな心を育てる教育の推進
- ③ たくましい体の育成

2. 平成24年度 教育課程の編成にあたって

① 確かな学力の定着

確かな学力を形づくる3つの要素

- ・ 学習意欲の向上
- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- ・ 様々な体験や学習を通して習得した知識・技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

- 「子ども中心の授業づくり」の研究を更に進め、「考えを練り合う」授業を通して「考える力」を育てる授業についての研究に取り組む。
- 様々な体験活動で得た様々な知識や情報を、確かな認識に変えていくため、教科や領域の学びの中で言語活動を生かしていく。
- 各教科等の指導において自分の意見をしっかりと持った上で発表・討論ができるように、「ひとり調べ→みんな調べ→ひとり調べ」のサイクルを生かした学習形態を工夫し、調査・研究、観察・実験など体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に取り入れる。
- 個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、補充的な学習、発展学習を効果的に取り入れ、個に応じた指導の充実を図る。
- 繰り返し学習の改善を行う。特に「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な知識・技能の習得の仕方について、朝の学習時間「はまなすタイム」の活用、年間の学習内容を見通した漢字学習の取組などを行う。
- 児童一人一人がもつよい点や可能性など多様な側面、進歩の様子などを積極的に評価するとともに、指導の過程や成果を評価し、指導の改善を行い、学習意欲の向上に生かす。
- 全国・県の学力調査の結果の分析をもとに本校児童の弱点を把握し、基礎学力の向上を図る。
- 「総合的な学習の時間」の趣旨を十分に踏まえ、より充実した取組を目指す。
 - ・ 具体的な「目標」や「内容」を明確にした活動を実施するとともに、目指す力が児童の身に付いたかの検証・評価を十分に行う。
 - ・ 自ら考え、判断していく「自ら学ぶ学習」、問題を解決する「学び方の学習」を意識した総合的な学習を推進する。

- 外国語活動は、5,6 学年で35 時間を計画し、英語に興味・関心を持つ児童、国際理解を図ろうとする態度を育成する。
- ふるさと体験学習に力を入れ、「ふるさとを知る子、ふるさとのよさがわかる子、ふるさとから学んだことを生かす子」を育成し、地域協働の精神とふるさとへの愛着を養う。
- 朝読書や図書室の積極的な利用等によって、読書活動を一層推進し、進んで本に親しむ態度を育てる。
- 基本的な生活習慣や学習習慣が身につくように、保護者との連携を図りながら取り組む。
- 教職員相互の授業参観、校内授業研究会、他校の研究会への参加等を通して、指導力の向上を図る。

②豊かな心を育てる教育の推進

- 異学年交流を進め、思いやりの心や感謝の気持ちを持って活動できる児童を育成する。
- 「あいさつ」「話を聞く」という活動に重点を置き、人との関わり大切さとよさを体験を通して学ばせることで、道徳的な心情を育成する。
- 自然体験活動、農業体験やふるさとを考える体験、ボランティア活動などを通して、道徳的な心情と実践力を育成する。
- 道徳の時間を核におき、全教科領域の活動と道徳的な価値の関係を見直し、学年や時期に応じた道徳教育を推進する。
- 「自他の命を大切にする」「友達を大切にする」児童を目指し、人権教育を推進する。
- 学級経営を充実し、学級における教師と児童との信頼関係および児童相互の好ましい人間関係を育てる。
- 教育相談活動を通して児童理解を深め、生徒指導の充実を図る。
- 毎日の掃除の時間を充実させ、自分たちの手で美しい学校にしようとする心を育てる。
- 人権に対する正しい理解と認識を深め、思いやりの心を持って行動できる児童を育成する。

③健やかな体、ねばり強さの育成

- 運動に親しむ習慣を身につけさせるとともに、体力と運動能力の向上を目指した学校体育の一層の充実を図る。特に、業間体育の充実に取り組む。
- 長い距離を歩いたり、走ったり、泳いだりする体験を設定し、継続して取り組む忍耐力や強い精神力を育成する指導を行う。
- よりよい生活習慣の形成、体の発育や発達、性に関する内容や心の教育など、小学校の時期に特有の保健的課題について、計画的段階的に指導を行う。
- 薬物乱用や生活習慣病など、現代的課題に対応する内容についての指導を充実させる。
- 郷土の食に関心を持ち、食の重要性を理解し、正しい食生活の形成を図る「食の教育」を推進する。

④その他

- 避難訓練（地震、火災、不審者）や交通安全教室、登下校の指導、安全教室等を通して、安全教育の徹底を図る。
- 勤労観・職業観を育てるためのキャリア教育（すべての教育活動の中で、子どもたち自らの人生を歩んでいく力をつける）を推進する。